平成21年度の環境に配慮した取組

～「安全でおいしい水」と「きれいな空気」を次の世代に～

企業庁では、水道事業や水力発電による電気事業など自然の恵みである水資源を活用した事業を行っており
自然環境と深い関わりを持つことから、次のような環境に配慮した取組を積極的に進めています。

水源環境の保全

水源かん養林の保全を行うとともに、ダム・貯水池に堆積した土砂の除去やエアレーション装置（アオコ等の藻類の大量発生を抑制する装置）・植物浄化施設（ビオトープ）による湖水の水質浄化などを行っています。

また、来年度からは、県内の企業・団体等が県内の森林を保全する新たな取組（かながわ森の町内会）を行う予定です。

水源かん養林（相模原市津久井町青根）

新エネルギーの導入

クリーンエネルギーである太陽光発電設備を城山ソーラーガーデンや水道記念館、寒川浄水場に設置しています。また、本年３月中に、新たに本沢調整池（城山湖）展望台にも設置する予定です。

寒川浄水場 太陽光発電設備

この他、道志ダム発電所や稲荷配水池に小水力発電設備を設置し未利用エネルギーを有効活用しています。また、本年２月に道志第２発電所の放水路に道志第４発電所（小水力発電所）を設置するとともに、３月中に、新たに芹沢配水池にも小水力発電設備を設置する予定です。

省エネルギー化や資源の再利用

浄水場やポンプ所の運転方法の改善により消費電力量の削減に努めています。

また、ダム・貯水池に堆積した土砂の骨材利用や流木のチップ化、浄水発生土の再資源化、水道管埋設時の発生土の再利用などに取り組んでいます。

流木のチップ化作業

環境についての普及啓発

水資源の大切さや水道事業への理解と関心を深めていただくため、水源林保全体験イベントや水道に関する作品コンクール（作文・ポスター）、「水のある風景」写真コンテスト、水道教室・水道学習講座などを行っています。

水源林保全体験イベント（下草刈り体験）

電気自動車（EV）の導入

二酸化炭素（CO_2）などの温室効果ガスの排出量の削減を図り、地球温暖化の防止に寄与するために、今年度、全水道営業所に１台ずつ合計11台の電気自動車（EV）を導入しました。

なお、車体ラッピングデザインは、県立産業技術短期大学校の学生によるもので、県営水道のみずみずしい水と電気自動車から連想される電気プラグをイメージしています。

また、本年２月から、相模川発電管理事務所（相模原市城山町谷ヶ原）に太陽光発電を利用した電気自動車用の急速充電器を設置しており、どなたでもご利用いただけます。

電気自動車

平成20年度の環境報告書を作成しました

平成20年度環境負荷低減効果は次のとおりです。

二酸化炭素（CO_2）排出量の削減	18,552トン
廃棄物の削減	322,686トン
土砂処分量の削減	40,069トン
流木の資源化（チップ化）	958トン

平成20年度の二酸化炭素排出量の削減効果18,552トンは森林の持つ二酸化炭素吸収量1haあたり22.5トンで換算（注）すると、芦ノ湖の面積（約690ha）の約1.2倍となる825haの森林が１年間に吸収する二酸化炭素の量に相当します。

（注）日本の森林では、1haで１年間に15～30トンの炭酸ガス（二酸化炭素）を吸収する。
→ 15～30トンの平均値である22.5トンで換算。（日本林業技術協会「森林の100不思議」より）

なお、浄水場の浄水処理過程で発生する浄水発生土をセメント原材料等として活用して、廃棄物の削減を図りました。また、ダム・貯水池に堆積した土砂のうち利用可能なものを建設用骨材や海岸養浜材として活用し、土砂処分量を削減しました。この他、流木をチップ化して公園の遊歩道や堆肥原料などとして活用しました。

「環境報告書（平成20年度決算版）」は企業庁のホームページに掲載しています。
ホームページ　http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kigyosomu/kankyo/index.htm
また、各水道営業所やダム管理事務所、県政情報センター、地域県政総合センターなどでご覧いただけます。

Q&A

お客さまからのご質問にお答えします。
また、ホームページに、この他にいろいろな質問と回答をご紹介していますので、
ぜひアクセスしてください。

県営水道ホームページ　http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kigyosomu/index.htm

Q1 メータボックスのふたが壊れてしまったので、修理してほしい。

A メータボックスはお客さまの所有物ですので、お客さまの負担での修理をお願いします。お近くの県営水道の指定給水装置工事事業者に修理を依頼してください。

指定給水装置工事事業者は、県営水道ホームページに掲載しています。ホームページをご覧になれない場合は、神奈川県営水道お客さまコールセンターへお問い合せください。

Q2 どうすれば水をおいしく飲めるのですか。

A 水道水をおいしく飲むためには、10℃から15℃に冷やして飲んでください。においが気になる方は、５分程度沸騰させた後、冷やすとさらにおいしく飲んでいただけます。

ただし、沸かした後の水は法令で定められた残留塩素が除かれ、消毒効果が無くなっていますので、早めにお飲みください。